

公表 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | スタジオみらい逗子田浦 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 10日 | | ～ 2026年 2月 25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 25日 | | ～ 2026年 3月 5日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 児童一人ひとりの特性や状況に応じて、活動しやすい環境づくりや支援を行っていること。 | 利用児が安心して過ごせるよう、活動内容や過ごし方に応じてスペースの使い分けを行い、個別・小集団での支援を取り入れている。児童の特性に合わせて座席配置や環境設定も工夫している。 | 活動と休息の切り替えがよりしやすくなるよう、空間の使い分けや備品配置を見直し、より安心して過ごせる環境整備を進めていく。 |
| 2 | 職員間で情報共有しながら、チームで支援やプログラムを組み立てていること。 | 日々の申し送りや打ち合わせ、1on1ミーティング等を通して支援内容や課題を共有し、職員間で共通理解を持って支援にあたっている。児童発信のアイデアも取り入れながら、主体性を大切にプログラムづくりを行っている。 | 支援記録や振り返りをさらに活用し、職員間の共有方法を工夫することで、より一貫性のある支援につなげていく。 |
| 3 | 保護者との連携を大切にし、家庭や地域とのつながりを意識した運営を行っていること。 | 日々の連絡や送迎時のやり取りに加え、SNSや連絡帳等も活用しながら、保護者へ情報発信を行っている。家族参加型のプログラムを実施し、保護者同士やきょうだいが交流できる機会も設けている。また、地域の方々とのコミュニケーションを大切にし、挨拶や声かけなど日常的な関わりを積み重ねている。 | 家族参加の機会や地域との交流の場を今後さらに増やし、保護者同士・地域とのつながりがより深まるよう取り組んでいく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 地域との交流や事業所の取組の発信が、まだ十分とはいえない点。 | 日々の支援業務を優先する中で、地域との継続的な関わりや外部への発信に十分な時間を確保しにくいことが要因として考えられる。 | ホームページ等を活用した情報発信を進めるとともに、地域の方々や関係機関とつながる機会を少しずつ増やしていく。 |
| 2 | 休息や集中のしやすさの面で、環境設定にさらに工夫の余地がある点。 | 活動内容が多様であることや、同じ空間の中で複数の過ごし方が重なる場面があるため、場面に応じた環境調整が必要になるため。 | 机や椅子の配置、パーテーションの活用、静かに過ごせる場所の確保などを行い、活動と休息の両立がしやすい環境を整えていく。 |
| 3 | 第三者による外部評価を実施していない点。 | 現在は事業所内での自己評価や保護者評価を中心に改善を進めており、外部評価の実施体制まで整っていないため。 | まずは自己評価・保護者評価の結果を丁寧に振り返り、改善につなげる体制を継続する。そのうえで、今後必要に応じて外部の視点を取り入れる方法も検討していく。 |